

MC-Media Pad™ “EB” 取扱説明書

Easy and accurate dry culture system for Microbial Counts

本取扱説明書をよく読み、微生物の取り扱いに習熟した人の管理下で使用して下さい。

◆ 製品の特徴

衛生管理において、食品とその製造環境の微生物検査は重要です。MC-Media Pad EBは、腸内細菌科菌群数を測定する培地です。MC-Media Padは、即時使用可能なシート状の培地であり、微生物検査の簡便化と廃棄物量の低減を可能にします。また、ISO 9001の認証を取得した工場で製造されています。

◆ 構造と検出原理

MC-Media Padは、接着シート、吸水性高分子と不織布が組み込まれた試験パッド、透明なカバーフィルムから構成されています。MC-Media Pad EBの試験パッドには、選択培地成分、pH指示薬およびコロニーを検出するための酸化還元指示薬が含まれています。試料液の滴下後、試験パッドはpH指示薬によって紫色に着色します。腸内細菌科菌群は培地に含まれるグルコースから酸を産生することで、pH指示薬が紫色から黄色に変化します。このため紫色の試験パッド上で、周縁部が黄色に変化した赤色コロニーを、腸内細菌科菌群として検出します。周縁部に黄色の変化がない赤色コロニーは、腸内細菌科菌群ではありません。

◆ 包装単位

- 1000枚入り …… コード SK07A25 (25 プレート x 40)
- 100枚入り …… コード SK07B25 (25 プレート x 4)

◆ 必要な器材

- インキュベーター (37±1℃)
- ストマッカーまたはブレンダー
- サンプリングバッグ (食品残渣を排除できるフィルター付の袋を推奨)
- ピペットおよびチップ
- ペプトン加生理食塩水または1/4強度リンガー液、リン酸緩衝生理食塩水、バターフィールドリン酸緩衝液、生理食塩水などの希釈液 (緩衝ペプトン水(BPW)のようなpH緩衝能が高い希釈液は、pH指示薬の機能を妨げるため推奨しません。)

◆ 試料の調整

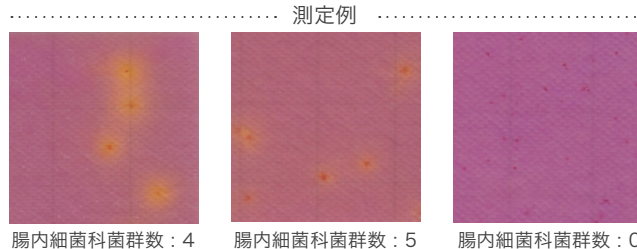
1. 固形試料は、10gの試料を90mLの適切な希釈液とともにサンプリングバッグに入れ、ストマッカーを用いて均質化します。液体試料は均質化する必要はありません。粘度のある液体試料は、固形試料と同様に均質化します。
2. 1mol/Lの塩酸や水酸化ナトリウム水溶液を用いて、試料液を中性域 (pH7.0±1.0) に調整します。試料液のpHが中性域を超える場合、培地中のpH指示薬が正常に機能せず、正確な判定が困難になることがあります。
3. 試料に含まれる成分や菌数によって、判定が困難になることがあります。このような場合は、さらなる希釈を推奨します。

◆ 使用手順

1. アルミ袋を開封し、MC-Media Padを取り出します。必要に応じて、カバーフィルム上に検体情報等を書き込むことができます。
2. 試験パッド全体が露出するようにカバーフィルムを開け、試料液1.0 mLをピペットで試験パッドの中央に滴下します。0.9mLより少ない滴下量では、試験パッドの発色が正常になりません。必ず1.0 ± 0.1 mLの試料液を滴下してください。
3. カバーフィルムを閉じ、試験パッド周囲をなぞるように軽く押し、接着シートと密着させます。
4. 37±1℃のインキュベーターで24±2時間培養します。
5. 判定方法に従って、コロニー数を測定します。
6. 高圧蒸気滅菌または煮沸などにより滅菌した後、地域の条例に従い廃棄して下さい。

◆ 判定方法

- 周縁部が黄色く変化した赤色コロニーを測定します。周縁部に色の変化がない赤色コロニーは測定しないで下さい。



- コロニー周縁部の黄色い変化を判定しにくい場合は、卓上ライトを使用して、明るい環境で測定してください。
- コロニー数の測定範囲は100以下です。コロニー数が100を超える場合には、試験パッド全体が黄色を示し、判定が困難になります。測定範囲に収まるよう試料液を希釈して下さい。
- 液体試料や水溶性の固形試料は、試料成分がコロニーの視認性を阻害し、判定が困難になることがあります。このような場合、試料液を希釈して下さい。
- 確認試験が必要な場合は、白金耳などを用いて試験パッドから釣菌することが出来ます。
- MC-Media Pad EBは、グルコースから酸を産生するグラム陰性菌を、腸内細菌科菌群として検出しています。そのため、一部の腸内細菌科菌群に属さない菌(*Aeromonas*属菌等)が検出されることがあります。

◆ 注意事項

- 未使用のMC-Media Padを、日光や紫外線にさらさないで下さい。
- 破損したMC-Media Padは使用しないで下さい。
- 使用時までカバーフィルムを開けないで下さい。
- 使用前の試験パッドに、淡いピンク色の着色、黒い点、微細な不織布片、シワや凹みがあっても、検出に影響しません。
- 試料滴下後の試験パッドにシワができることがあります。検出に影響しません。

◆ 保管方法および使用期限

- 2-15℃の冷暗所で保管して下さい。
- 冷凍での保管はしないで下さい。
- 使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。
- 使用期限は、カバーフィルム、アルミ袋、化粧箱に印字しております。この使用期限は、アルミ袋が未開封で適切に保管された場合に限りです。
- アルミ袋を開封した後は、開口部を閉じた状態で2-15℃の冷暗所で保管して下さい。開封後、1ヶ月は使用が可能です。

◆ 保証の制限および範囲

製品の品質はJNC株式会社により適切に保証されています。またJNC株式会社は、製品の品質以外の表記、非表記問わず、あらゆる保証を負いかねます。製品に欠陥があった場合、JNC株式会社またはJNC代理店により交換または購入金額の返金をいたします。

◆ 問い合わせ先

JNC株式会社 ライフケミカル事業部
〒100-8105 東京都千代田区大手町2-2-1
TEL:03-3243-6225 FAX:03-3243-6219
E-mail: mcmp@jnc-corp.co.jp
Website: <https://www.jnc-corp.co.jp/MC-MP/>

製造販売元 **JNC株式会社**